



論文式試験 編

LAW



▶ 法律基本7科目編

1 キックオフ司法試験予備試験

標準学習期間

7科目全体で1～2か月程度（受講開始が総合講義民法配信後の場合は1～2週間程度）

獲得目標

キックオフ司法試験予備試験は、法律基本7科目の全体像と重要項目をスピード攻略するエントリー講座です。そのため、キックオフ司法試験予備試験での獲得目標は「この科目はこんなことを学習するらしいということ」、「条文が大事であること」、「法律の学習は難しいものであること」、「前の話を理解するには後の話を理解する必要があること」、「繰り返しによる慣れが必要であること」、「どの科目・分野でも似たような説明がされていること」といった、法律学習の仕方・コツのイメージを持つことになります。

この段階では講師が講義で触れた条文を六法を開いて確認し、疑問に思った点を少し考えながら先に進めていきましょう。キックオフのテキストを後に見返すことはないので、この段階で詳細なメモを取ることは不要です。法律に慣れる範囲で手と頭を動かしていきましょう。

2 総合講義 300

標準学習期間

1科目あたり3週間～1か月

獲得目標

総合講義300を進めるうえで最も大事なポイントは、「将来演習段階に入った時の辞書作りのイメージ」で先に進める必要があり、かつ、それで足りるということです。総合講義300の段階で法律の知識をすべて理解するなんて言うことは限りなく不可能に近いです。ですから、わからないことが出てくる度に立ち止まることは効率が非常に悪いと言えます。講義を聞いても分からないところは時間を決めたくて立ち止まって考え、それでもわからない部分は付箋を貼る等して先に進めましょう。他方、ただ聞き流すだけでは頭に入ってこず、時間の無駄遣いになってしまいます。勉強の基本は「考えて脳に負荷をかける」ことですから、講義中も手や頭を動かして講師の話している内容を理解するよう努めましょう。それでもわからないことはたくさんあると思いますが、それでよいのです。講師が大切だと述べている部分は意味が解ら



短答式試験 編

LAW



1 総論（講座紹介）

1-1 講座紹介

予備試験最短合格カリキュラム（フル）における短答系の講座は、①短答絶対合格！スキル習得講座（フルのみ）、②短答知識完成講座Ⅰ・Ⅱ、③短答過去問解説講座Ⅰ・Ⅱ、④一般教養科目対策講座（フルのみ）で構成されます。

それぞれ、①短答絶対合格！スキル習得講座は短答の勉強法を学ぶ講座、②短答知識完成講座Ⅰ・Ⅱは短答プロパー知識のインプット講座（総合講義の短答特化版のイメージ）、③短答過去問解説講座Ⅰ・Ⅱは短答の過去問集、④一般教養科目対策講座は一般教養科目のインプット講座です。

1-2 大まかな流れ

短答については H24 以降の過去問を 3 周し、その後プレテストから H23 までの過去問を年度別で実施しながら弱点補強を行うという流れで進めていきます。

2 各論

2-1 短答過去問解説講座 1 周目

短答の勉強は短答過去問解説講座がメインになりますが、まずはスキル習得講座を受講し、短答の勉強についてのイメージを掴みます。

そして、各科目の総合講義の視聴が終わったタイミングで、短答過去問解説講座のテキストに取り掛かります。例えば民法の総合講義の視聴を終えたタイミングで民法の短答過去問解説講座のテキストに取り掛かります。

学習の流れとしては、①問題を見て解答する（肢ごとに正誤を判断する）、②短答過去問解説講座の解説を読む、③解説を読んで分からなかった部分は総合講義に戻るを繰り返してほしいと思います。

総合講義に載っていない知識については①②までで問題ありません。

1 周目で意識してほしいことは、短答の問題を通じて総合講義で習った知識を復習することです。重問の 1 周目も同じですが、この時期はとにかく知識を入れることが重要になりますので、問題を解きながらインプットをするという意識をもってほしいと思います。



質問制度 編

1 総論（質問制度紹介）

1-1 質問制度紹介

予備試験最短合格カリキュラムにおける短答式試験・論文式試験に関連する質問制度としては、① KIKERUKUN を利用した質問と② オフィスアワーを利用した質問があります。

1-2 利用資格

質問制度のうち、① KIKERUKUN を利用した質問については、フルカリキュラム受講生は100回まで、ライトカリキュラム受講生は50回まで、以下で説明するような質問をし、普段の学習の疑問点を解消することができます。

② オフィスアワーを利用した質問は、フルカリキュラム受講生のみ利用できます。

2 各論（① KIKERUKUN を利用した質問について）

2-1 KIKERUKUN とは

KIKERUKUN とは、オンライン質問サービスのことを指します。

具体的には、KIKERUKUN にアクセスし、最短合格カリキュラムにおけるほぼすべての講義・テキスト（総合講義1問1答・一般教養科目対策講座・選択科目・答案の添削内容については、対象外です。）の疑問点を投稿すると、後日プロ講師が作成した疑問点についての回答が返ってきます。

2-2 KIKERUKUN の正しい使い方～最短距離で合格するための「質問術」

上記のように、KIKERUKUN は皆さんの合格を最大限にサポートする制度ですが、この制度を使いこなすためには、「質問術」をマスターする必要があります。的確な質問ができるということは、的確な学習ができていることの何よりの証拠です。実際に、短期合格者の多くは、質問が極めて的確なことが多いです。このように、「質問術」をマスターすることは、最短で合格する学習法をマスターすることに他ならないのです。

「質問術」をマスターするために必要なポイントは、①質問のタイミングと②質問の仕方をマスターすることです。